

Tachyon

[タキオン]



なかにし礼氏によって作詩された公立小松大学校歌のタイトルは「光より速きわれら」。ときに光速をも超える思念やインスピレーションが本学学生・職員の spirit から発せられるよう念願し、本誌のタイトルとして選んだのが「タキオン」(Tachyon)である。Tachyon は、未だ確認されていない粒子であるが、光より速い速度をもつとされ、ギリシャ語の「ταχύς (速い)」を語源とする。

学長 山本 博

(図出典：Institut for teoretisk Fysik)



We Enjoy
Campus Life

吹奏楽サークル
(紹介はP6)

01 入学宣誓式、きずな合宿

03 大学TOPICS

05 教員紹介 李 鍾昊 臨床工学科准教授

06 ぶらりキャンパス案内、サークルPick Up

07 令和2年度(2020年度)入学者選抜試験

vol.3

2019.07



(右ページ) 熊田祥子さんのソプラノが花を添えた今年の入学宣誓式
(左ページ) 上 山崎直子学長特別補佐による祝辞
右下 入学宣誓を行う西村由真さん(看護学科)
左下 記念の1枚を撮影する人でにぎわう会場

新しい時代の幕開けへー 248人の新入生が入学 平成31年度 入学宣誓式を挙

4月2日(火)こまつ芸術劇場うららで「平成31年度入学宣誓式」を執り行いました。保護者や来賓、関係者が見守る中、生産システム科学科83人、看護学科50人、臨床工学科32人、国際文化交流学科83人、合計248人が晴れて第2期生として入学しました。

冒頭、山本学長による入学許可の後、入学生を代表して、看護学科の西村由真さんが登壇し、「大学生としての自分を自覚し、勉学に励むことを誓います」と力強く宣誓を行いました。山本学長からは、開学2年目を迎えた今年、本学がホップ・ステップのステップを果たせるよう取り組む決

意とともに、入学生の成長と飛躍を願い「小松から世界へ」という激励の言葉が贈られました。

石田寛人理事長による式辞、和田慎司小松市長による式辞の後、ご来賓の宮川吉男小松市議会議員、宇宙飛行士の山崎直子学長特別補佐、公立小松大学を支える会の勝木保夫会長の祝辞がありました。

山崎さんは、「自分が宇宙から見た地球は美しいだけではない。しかし、最初から地球もそのような姿だったわけではない。さまざまな環境や人間、生物が今の地球を形作っている。みなさんも、仲間、先生と共に学ぶことを大切に

してほしい」と、自らの経験を踏まえ、学びの大切さを語りかけました。

最後に、加賀市出身のソプラノ歌手・熊田祥子さんを迎え、国際文化交流学科2年生土橋香乃さんのピアノ伴奏に乗せて、大学校歌「光より速きわれら」を会場全体で斉唱し、閉会しました。時折、雪交じ

りの雨も降る花冷えの一日でしたが、会場は入学生の期待と希望、それを祝う祝福ムードに満ちあふれていました。



「きずな合宿」開催



保健医療学部(看護、臨床工学) 集合写真

4月26日(金)・27日(土)の2日間、学生教員間の交流、親睦を深めるため、新1年生を対象に「きずな合宿」を行いました。

生産システム科学部、国際文化交流学部は里山自然学校「大杉みどりの里」に1泊2日、保健医療学部は里山健康学校「せせらぎの郷」に日帰りで、グループワークやオリエンテーリング、スポーツ交流、野外炊さんなど、学科毎にさまざまなプログラムに取り組みました。

最初は緊張気味だった1年生たちも、プログラムをこなすうちに自然と打ち解け、サポート役として参加した2年生からのアドバイスを受けながら、これから4年間勉学をともにする仲間との友情を育みました。



国際文化交流学部の2日目の昼食は、野外炊さんのカレーライス



生産システム科学部では、教員とともにワークショップを開催

英語の勉強を頑張ります!

大学生活で、中国語をマスターしたいです。

八木 菜陽

実行委員になって、大学祭を盛り上げてみたい!

大阪府出身です。

サークルで剣道をやりたいです。

佐藤 逸哉

静岡県から来ました。

サークルでバレーボールをやりたいです!

宮野 佑也

長野県出身です。

勉強もサークルも、新しいことにどんどん挑戦したい!

寺島 彩恵

3人とも大聖寺高校出身です。

サークルで、体を動かしたい!

酒井 稜

野球をやっていました。スポーツ系のサークルに入りたいです。

大学生の間に、たくさん旅行がしたいです。

見付 健人

国際文化交流学科

臨床工学科

看護学科

生産システム科学科

入学生
大学生活に
かける
メッセージ
2019

2019年7月～2020年3月
スケジュール

2019年

7月31日(水)～8月9日(金)
前期試験(補講・試験予備日含む)

8月13日(火)～9月30日(月)
夏季休業

※8月10日(土)～9月末、附属図書館(粟津・中央)はいずれも、土日曜日閉館となります。自習室も同様ですので、ご注意ください。

9月26日(木)
末広キャンパス竣工式

10月1日(火)～
後期授業開始

10月12日(土)・13日(日)
小松市どんどんまつり

12日(土)のあんどん行列に参加予定!

10月19日(土)・20日(日)
大学祭「青松祭」

10月26日(土)
市民公開フォーラム開催

11月16日(土)
地域推薦入試、社会人入試

12月25日(水)～1月5日(日)
冬季休業

2020年

1月18日(土)・19日(日)
大学入試センター試験

2月1日(土)
一般推薦入試

2月3日(月)～13日(木)
後期試験(補講・試験予備日含む)

2月14日(金)～3月31日(火)
春季休業

2月25日(火)
一般入試(前期日程)

3月9日(月)
一般入試(中期日程)

★プリンスオブソンクラ大学(タイ)から短期留学生を受け入れ

5/13(月)～24(金)

5月13日(月)～24日(金)、タイのプリンスオブソンクラ大学ホスピタリティ観光学部の学生5人が、短期留学のため来日しました。

日本文化などについての特別授業を受けながら、小松市内の文化施設等の見学や、弓道や着物の着付け、茶道などの日本文化体験プログラムを満喫し、さらに週末は市内の家庭にホームステイをし、日本の生活に触れました。また、本学学生が安宅海岸を案内したり、町家ハウスRyusukeと一緒に料理を楽しむなど、活発な交流が行われました。プリンスオブソンクラ大学へは、2020年3月頃に、異文化体験実習として本学学生を派遣する予定です。



★ボランティアで地域に学ぶ 6/1なごみ祭り 6/9クリーンビーチいしかわ

6/1(土)～9(日)



本学では、学生の地域ボランティア活動を推進しています。

6月1日(土)は、看護学科の学生20人が、社会福祉法人なごみの郷で行われた「第20回なごみ祭」に参加しました。こまつ看護学校の学生とともに、飲食の販売や来場者案内などで、会場を活気づけました。

また、6月9日(日)に安宅海岸で行われた「クリーンビーチいしかわinこまつ」には、学生・教職員約40人が参加。地元町内や地域の団体の皆さんとともに海岸に漂着したプラスチックごみなどを回収し海岸清掃に汗を流しました。



★2019年度 学長表彰

6/17(日)～20(木)

学長表彰は、学業成績優秀者のほか、課外活動において優秀な成績を収めたり、社会活動において特に顕著な功績をあげるなど大学への貢献を認められた学生・学生団体に贈られるものです。

2019年度表彰として、各学科から推薦を受けた20人が選ばれました。6月17日(日)～20日(木)にかけて中央キャンパスで行った学部別の表彰式では、学長から、表彰状と記念品の授与を行うとともに、今後のより一層の活躍を期待するメッセージが送られました。

2019年度学長表彰

生産システム科学科：金田和磨、館諒翼、近澤光太、山本成騎、吉川晃太
看護学科：飯沼陽、林田光、横手樹里
臨床工学科：飯塚亮太、牧野美奈
国際文化交流学科：江田明未、倉田冴奈、今度薫香、高橋美和、土橋香乃、西村彩花、判多美空、藤木菜緒、古澤菜那、松浦野乃佳



表彰式(生産システム科学部)

★常州大学(中国)と大学間交流協定を締結

5/8(水)

5月8日(水)、常州大学(中国江蘇省)と、大学間交流協定及び学生交流に関する覚書を締結しました。常州大学は、16学部からなる総合大学です。

また、国際文化交流学部が、3月9日(土)に国立中央大学英米語文学科・言語センター(台湾)と、6月13日(木)には、東南大学外国語学院・海外教育学院(中国江蘇省)と学部間交流協定を締結しました。

すでに大学間交流協定を締結している建国科技大学(台湾)を含め、いずれも、学生の交換留学を実施します。

★お旅まつり 曳山行列に参加

5/11(土)

5月11日(土)、お旅まつりの曳山行列に、学生・職員約40人が参加しました。



快晴に恵まれる中、参加者は、こまつ曳山交流館みよっさ前から、曳揃えの会場まで、町民の皆さんとともに「よーらはっすん」の掛け声を合わせて曳山を曳き、小松の町人文化と歴史を肌で感じました。

★産学連携の拠点に! シリコンバレーオフィス開設

3/1(金)

カリフォルニア州サンタクララにある、米国法人B-Bridge International, Inc. 社内に「公立小松大学シリコンバレーオフィス」を開設しました。

シリコンバレーは、世界的なIT企業の本社やスタンフォード大学などがあり、また、若手起業家やベンチャーキャピタルが数多く集まる地でもあります。今後、学生のインターンシップ派遣や、地域の企業等と協同で産学合同研修などを行う予定です。

シリコンバレー特有の起業文化と多様性を間近で学ぶ機会を創出し、学生の国際感覚を養い、世界で活躍できる人材の育成につなげていきます。



ひとりで悩まず、気軽に相談 保健管理センター 学生相談

中央キャンパス、粟津キャンパスそれぞれに設置している保健管理センターでは、学生相談を行っています。大学生活の中での悩みなど、カウンセラーが話を聞いて、解決の方向を一緒に考えます。

相談は予約制です。また、学生の家族からの相談にも応じています。相談内容は厳守します。

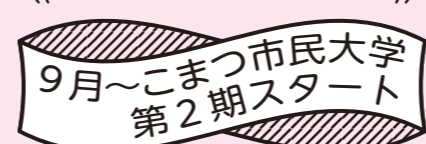
【相談日】 中央キャンパス 毎週月曜日・火曜日
粟津キャンパス 毎週水曜日
いずれも、13時30分～17時30分

【相談員】 坂原泰子 臨床心理士・公認心理師

【申込方法】 いずれかの方法で予約してください。

- ①電話 ☎ 0761-48-3255
- ②Eメール health@komatsu-u.ac.jp
- ③直接、保健管理センターで申し込み

チャレンジと学び直しを応援



こまつ市民大学は、社会人の学び直しと生涯学習支援を目指し、小松市、公立小松大学、小松商工会議所、まちづくり市民財団、社会福祉協議会が連携して運営を行っています。

「地域づくり」「ライフスタイル」「スキルアップ」の 카테고リー別に、さまざまな講座があります。講座内容や申し込みについては、こまつ市民大学ホームページでご確認ください。





李鍾昊 准教授
(保健医療学部臨床工学科)

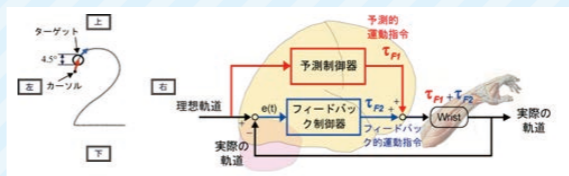
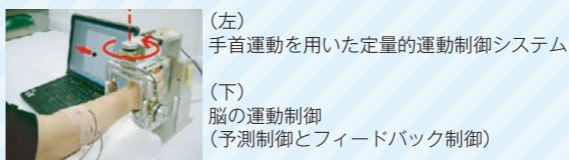
Jongho Lee

ひらがなだけ覚えて日本へ留学

大学時代はロボット工学を専攻、修士課程では音声信号を解析する信号処理の研究をしていましたが、「人間工学、生体工学、リハビリ」分野を目指すようになったのは、軍隊での怪我がきっかけでした。韓国では成人男性に兵役の義務があり、私も大学時代に軍隊に入りましたが、その訓練の最中に脊椎と腰を痛めてしまいました。大学院に進み、カイロプラクティック治療などで症状は軽くなりまし

たが、腰に残る痛みは長時間に及ぶ音声信号処理の研究に支障を及ぼす状態でした。その苦難を何とか乗り越え、大学院を卒業する直前に、人生の大きな転機が訪れました。日本に留学した友人の紹介で、人間工学、特に「脳の運動制御」を研究する東京工業大学の小池康晴教授と出会い、自分と同じように痛みに苦しんでいる人たちを助ける「やりがいのある道(研究)」に進むことを決断したのです。その選択には一生後悔しない確信があったので、決まっていた就職を断り、ひらがなしか分からない

い状態で日本にやってきました。私の研究は、人が動くときに生じる生体信号、正確には、人の体を動かすために筋肉から発生する電気信号を利用した、脳の運動制御メカニズム(またはアルゴリズム)の分析と応用です。日本に来てそれまでとは異なる生体工学の世界に飛び込んだわけですが、大学院で学んだ音声信号処理の技術は、生体信号処理に転用することができ、2年



脳科学から目指す社会貢献

私が構築した「定量的運動制御評価システム」は、脳卒中や神経疾患などによって失われた運動機能を、脳の代表的な運動制御である予測制御とフィードバック制御の観点から評価するものです(図参照)。機械に手を入れ、カーソルを20分程度操作することで、手首(手関節)を制御する脳の運動制御能力(特に予測制御とフィードバック制御の精度)を把握できます。このシステムを用いて、各地の病院と連携し、パーキンソン病患者などの病態評価や脳卒中患者のリハビリや治療を助け

私の休日



趣味は、山登りとまではいかず、丘のぼりと花見です。休日は妻と二人でよく近所の公園を散歩しますが、きれいな空気や季節の花の美しさが、心を癒してくれるひと時です。

お気に入りの景色

「治療ナビゲーションシステム」への発展を目指したテーマベースの構築などを進めています。さらに、そうした病院連携研究の成果から、高齢者の脳の健康管理や、在宅医療・在宅リハビリ支援、子供の運動発達モニタリングシステムなど、広く一般社会に貢献する実用的な展開を目指しています。

ぶらりキャンパス案内



資料に関しては、何でも気軽にご相談下さい

中央キャンパス
～中央図書館編～

中央キャンパスの2階、吹き抜け廊下の左右に広がるのが中央図書館です。廊下との区切りのない開放的な空間が特徴で、書架や閲覧コーナーのほか、個別スペースを確保した自習室も併設しています(自習室は、本学学生のほか、高校生も利用可)。全学科の共通教育を中央キャンパスで行うため、中央図書館では、工学、保健医療から国際分野まで、幅広い教養と専門性を身に付けられるような資料の選定と蔵書づくりを進めています。

●平日は、20時まで開館

開館時間	平日	9時～20時
	土	9時～17時
休館日	日・祝日	

開館カレンダーは図書館ホームページでも公開しています。

●学生・教職員以外の方も利用可能です
学外利用者は、来館時に事務局受付(17時以降は図書館カウンター)で受付票を記入してください。

●貸出冊数は、利用者区分によって異なります

区分	貸出冊数	貸出期間
学生	10冊以内	14日
教職員	20冊以内	30日
学外利用者	3冊以内	14日

●借りる際、学生証または利用カードを忘れずに
学外利用者は、「図書館利用カード」を提示ください。カードを新規で発行するには、身分証明書と発行料500円が必要です(小松市立図書館カードの利用者番号登録を行うことで、本学の図書館利用カードとしても使用できます)。

●来館しなくても、蔵書検索が可能です
蔵書検索システム「OPAC」で、本学所蔵の図書や雑誌を探すことができます。



サークル Pick Up



(上) こまつ芸術劇場うらら小ホールで行われた「小松市民音楽祭」
(右) 昨年度の大学祭。あいにくの雨と風により、テントの下で演奏



昨年の大学祭では、屋外ステージで軽快な音色を披露し、会場を盛り上げた吹奏楽サークルの皆さん。代表の近澤光太さん(生産システム科学科2年)と寺崎安佳李さん(看護学科2年)に話を聞きました。

どんな活動をしていますか?

寺崎 メンバーは現在11人、毎週月曜日と水曜日に、粟津キャンパスの大講義室を借りて練習しています。
近澤 中学から吹奏楽を始め、大学に入っても音楽を続けたいと思っていました。友人を介して、寺崎さんと同じく経験者ということを知って、一緒にサークルを立ち上げました。

これからの目標は?

近澤 今年は6月に小松市民音楽祭に参加しました。10月はどんどんまつりと大学祭、11月には福井で北陸三県大学学生芸術交歓祭があります。



粟津キャンパスでの練習風景

これからメンバーをもっと集めて楽器の幅を広げ、色々な曲が演奏できるようにしたいです。
寺崎 皆さんの前で演奏するという目標があると、メンバーのモチベーションも上がるので、演奏機会はもっと増やしていきたいです。できればサークル合宿もやってみたい!

サークルの代表曲としたい、と挙げてくれたのは、東海林修作曲の吹奏楽曲「ディスコ・キッド」。音楽を愛する仲間の輪を広げて、どんな演奏を届けてくれるのか、これからも楽しみです。

令和2年度 公立小松大学入学者選抜試験

(2020年度)

一般入試は、インターネットを利用したWeb出願のみになります。
各試験の募集要項は、9月以降にホームページで順次発表予定です。

入試区分	出願期間	試験日	合格発表	入学手続き期限	
推薦入試	地域推薦 (市内、県内)	11月1日(金) ～7日(木)	11月16日(土)	11月22日(金)	12月6日(金)
	一般推薦	12月16日(月) ～24日(火)	令和2年 2月1日(土)	令和2年 2月10日(月)	令和2年 2月19日(水)
一般入試	前期日程	令和2年 1月27日(月) ～2月5日(水)	令和2年 2月25日(火)	令和2年 3月5日(木)	令和2年 3月14日(土)
	中期日程	令和2年 1月27日(月) ～2月5日(水)	令和2年 3月9日(月)	令和2年 3月21日(土)	令和2年 3月27日(金)
社会人入試	11月1日(金) ～7日(木)	11月16日(土)	11月22日(金)	12月6日(金)	

(単位：人)

学部	学科	入学定員	入試区分と募集人員					
			一般入試		特別入試			社会人入試
			前期日程	中期日程	一般推薦	推薦入試		
						市内	県内	
生産システム科学部	生産システム科学科	80	40	20	7	6	7	—
保健医療学部	看護学科	50	30	8	2	5	5	若干名*
	臨床工学科	30	17	5	3	2	3	若干名*
	計	80	47	13	5	7	8	若干名*
国際文化交流学部	国際文化交流学科	80	30	30	7	7	6	—
合計		240	117	63	19	20	21	若干名*
大学入試センター試験			課す	課す	課す	課さない		

*社会人入試の募集人員は、各学科の一般入試の内数とします。

公立小松大学 大学祭

せいしょうさい

Re: youth ~

日時 **10月19日(土)・20日(日)**

場所 中央キャンパス 他

内容 ステージパフォーマンス、模擬店、進学相談など

◀ 問い合わせ ▶ 中央キャンパス 学生課 ☎ 0761-23-6600

市民公開フォーラム

「宇宙とツーリズム
—フロンティアの向こうへ」

10月26日(土) 14:00～16:00
サイエンスヒルズこまつ3Dスタジオ

パネリスト：「宙ツーリズム」山崎直子
(宇宙飛行士・学長特別補佐)
「世界の果てツーリズム」中子富貴子
(国際文化交流学部准教授)
「マヤの宇宙を旅する」杓谷茂樹
(国際文化交流学部教授)

モデレーター：寺門和夫(科学ジャーナリスト)

入場無料、要事前申込

◀ 問い合わせ ▶ 地域連携推進センター ☎ 0761-23-6600